

かしわの  
市原市 柏野遺跡

柏野遺跡は、養老川の支流である平蔵川を望む標高約90mの台地上にあり、旧石器時代、及び縄文時代草創期の石器群が発見されました。

旧石器時代の石器群は、礫群が主体となるものの、削器・搔器・石核・剥片などの石器(写真・中下段)なども多数含まれています。とりわけ礫群は、この遺跡の旧石器時代人の活動を性格づける遺物であり、興味深い資料です。また、縄文時代草創期の石器として、狩猟具である槍先形尖頭器(写真・上段)が見つっています。遺跡周辺で狩猟が行われていたことを示しています。





旧石器時代の石器が出土した状況

出土状況を立体的に把握するため、石器が見つかる時、そこを残して周囲を掘り下げます。柱の天面がその石器の出土位置になります。